

# 大館でロボット教室・大会

## 指示通り動くかな？ 小中学生が学び、試す

小中学生向けのロボット教室と「大館カップ2024大会」が24日、秋田職業能力開

発短大で開かれ、児童生徒たちはプログラミングの基礎を学んだ上で成果を試した。



プログラミングしたロボットを走行させる参加者  
(秋田職能短大)

大館商工会議所などで行われる「おおだてロボット人材育成コンソーシアム」(佐藤義晃会長)主催。プログラミングへの関心を高め、論理的思考や課題解決能力を高める狙い

がある。

教室には初級、中級の両コース合わせて小学4年から中学3年まで18人が参加。東光コンピュータ・サービスの社員や同校学生を講師に、ロボットの動作を指示するプログラムの組み方を学んだ。

大会には初級12人、中級5人が出場した。直進や後退、左右旋回をプログラミングして規定のルートを走行させ、正確さや速さを競った。風船割りや指定場所への「車庫入れ」などの課題に成功すると、保護者から拍手が起った。

コースから外れたり、転倒したりする場面も。2回目の挑戦に向けて10分間で再調整するなど、失敗しても諦めずに繰り返していた。結果は次の通り。

▽初級 ①兜森健吾(上川沿小6年) ②松村和賀子(城南小5年) ③山下春輝(長木小5年)

▽中級 ①山内颯太(大館東中3年) ②兜森凜(城南小6年) ③大黒暖人(有浦小4年)